

令和6年度鹿児島県感染症対策連携協議会 開催概要について

- 1 開催日時
令和7年2月13日（木）18時40分から19時40分
- 2 出席者
委員15人（うちオンライン参加6人，代理1人）
- 3 協議事項
 - (1) 「令和6年度の取組について」
 - ア 鹿児島県感染症予防計画に基づく取組
 - イ 鹿児島県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
 - (2) 「令和7年度の取組について」
 - ア 鹿児島県感染症予防計画等に基づく取組
 - イ 市町村新型インフルエンザ等対策行動計画の策定支援について
 - (3) その他
- 4 主な意見
 - (1) 「令和6年度の取組について」
 - 感染症有事の際にはすべての保健所で人手が足りなくなる状況になると思うので、IHEATについてもっと広く周知していただきたい。
 - 発熱外来の協定締結数が少ないのは少し驚きの結果である。
（診療報酬上の）メリットが少ないというのはあるかもしれないが、みんなで取り組まないと乗り切れないのがパンデミックだと思うので、周知・協力をお願いしたい
 - 発熱外来は、地域ごとの確保も課題。今後、目標を設定することも必要と思うので検討してほしい。
 - 自宅療養者等への医療提供について、診療所や訪問看護事業所は、数値目標を達成していないため、地域差のないようにするとともに、（コロナ対応時の）実績だけでなく余裕を持って確保するようお願いしたい。
 - 自宅療養者等への医療提供について、医療機関と結びついていない高齢者施設が多く存在するので、その支援体制を整備する必要があると思う。
 - 施設への支援は非常に重要であるが、ドクターが動くのは限界がある。コメディカルとして一定数登録されている感染管理認定看護師等がかねてから活躍できる仕組みが整うことが理想である。
また、コロナ禍で培ったスキームの継続ができるよう検討して欲しい。

(2) 「令和 7 年度の取組について」

- 各指定地方公共機関の作成した計画について、行動計画と整合性がとれているか確認する機会を設けてほしい。
- 来年の研修がいろいろと紹介されているが、パンデミックに備えるものばかりである。本県では、ダニ媒介の感染症、死亡者も多く、他にも薬剤耐性菌や梅毒など課題はあるので、もっと広い視野でやっていただきたい。
- 国では、感染症のサーベイとして、急性呼吸器感染症 A R I を定点で把握しようとする動きも出てきている。（感染症対策連携協議会において、）そのような話題も提供していただきたい。
- 歯科からは（感染症）対策についてはあまりないが、予防に関して口腔粘膜からウイルスの侵入等もある。日頃から口腔健康管理についても周知してほしい。

(3) その他

- 環境保健センターについて、機器はもちろんだが人材を継続して増やしてほしい。
- パンデミック初期においては感染症指定医療機関間の横の連携が重要になるので、第 1 種・第 2 種感染症指定医療機関の連携組織等を検討していただきたい。

5 その他

傍聴人 無し